

学校教育目標

〔校訓〕 「 立志 ・ 琢磨 ・ 愛郷 」

〔学校教育目標〕

確かな学力をもち、自己実現に向かうこころ豊かな生徒の育成

生徒指導の意義

- ・ 学校が教育目標を達成するうえで重要な機能を果たすものである。
- ・ すべての生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることをめざして行われる教育活動である。
- ・ 学校生活がすべての生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになることを目指すものである。

自尊感情と社会性・実行力を向上させる生徒指導の推進

- (1) 人権尊重を基盤に、存在感や成就感を大切にした指導を徹底する。  
(生徒とのふれあい、居場所づくり、こころよい集団づくり)
- (2) 全教職員で取り組む生徒指導体制を確立する。(共通理解と組織ワーク)
- (3) 保護者との連携・協働を重視する。(家庭訪問、家庭連絡、教育相談)
- (4) いじめなど命や人権に関わる問題、法に触れる行為に対しては、毅然とした指導を行う。
- (5) 地域や関係機関との連携・協働を図る。(ケース会議・連絡会等)
- (6) 教育相談(活動)を展開する。(定期相談等、スクールカウンセラーの活用と連携)



学校全体で生徒指導の充実に取り組む

めざす学校像

- (1) すべての生徒が自ら学び、自ら考え、いきいきと活動する学校
- (2) 生徒の健康や安全を守り、危機に的確に対応し、自己安全管理ができる生徒を育てる学校
- (3) 保護者や地域に信頼され、家庭や地域と協力して生徒を育てる学校

## 1. 生徒指導目標

- ①学校教育目標を踏まえ「やる気」を育てる生徒指導の徹底を目指す。
- ②校訓である「立志・琢磨・愛郷」の精神を根づかせる。

## 2. 実践姿勢

- ①カウンセリングマインドによる指導を通して生徒の心の声を聞き、生徒自身が自分を見つめ直すことを促していく指導を行う。
- ②様々な場面において、生徒が自己選択、自己決定できる機会を設定し、生徒の自立心を育てるとともに、自らの行動に責任をもたせる指導を行う。
- ③生徒の発するサインを見逃さないよう、生徒の観察、生徒への働きかけを通して生徒理解に努める。
- ④常に厳しさと優しさを備えもった指導を行う。

## 3. めざす生徒像

- ①目標をもち、最後までやり抜くたくましい生徒。
- ②友情と信頼に厚く、互いに励まし合い、学び合う生徒。
- ③人や物に感謝し、地域や社会と共に生きようとするこころ豊かな生徒。
- ④自ら学び、考える力をもった個性豊かな生徒。
- ⑤人をいたわり、自他の生命と人権を大切にする生徒。

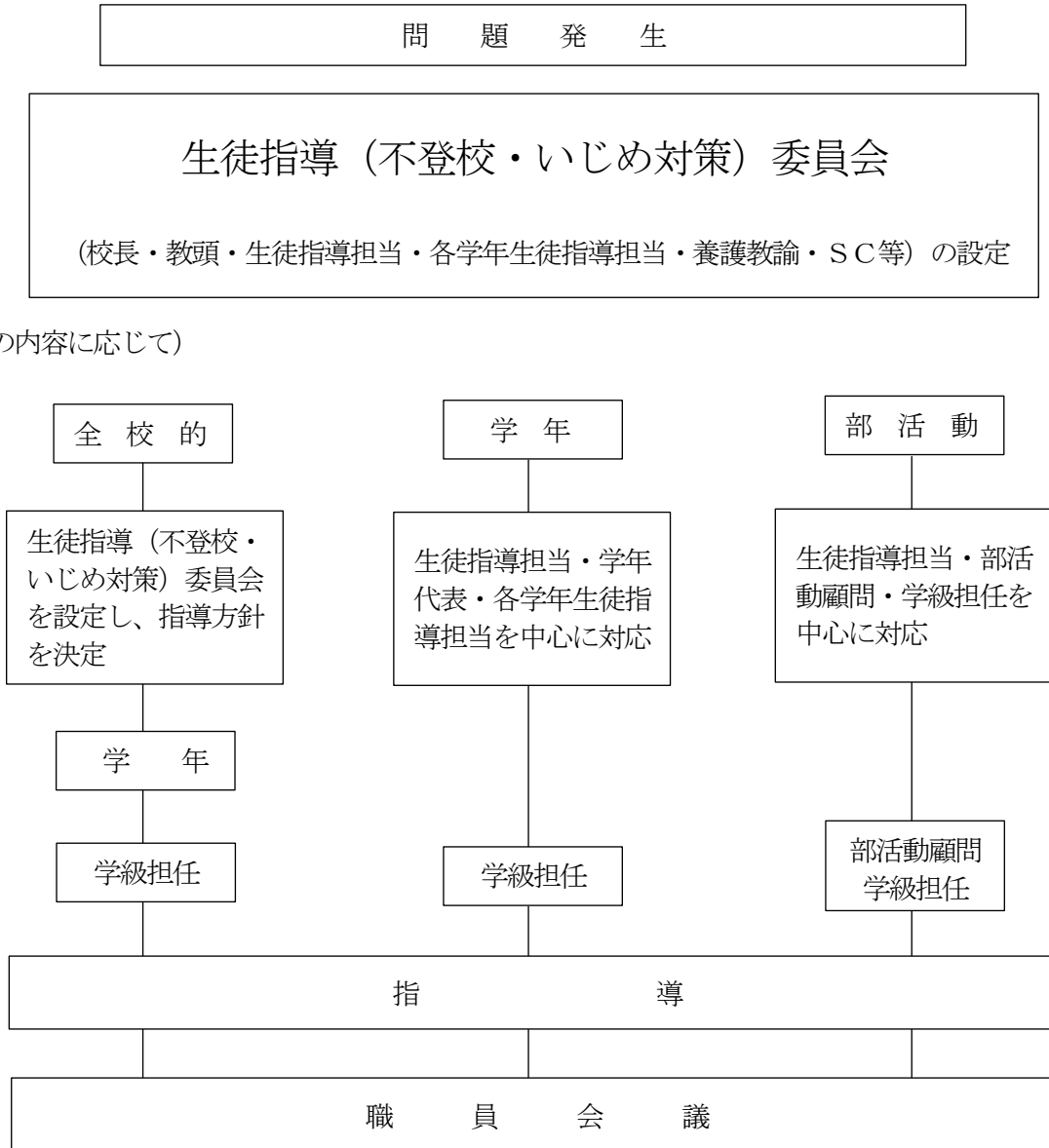
## 4. 具体的実践

- ①生徒に対して一方的な指導にならないようにする。問題行動を指導するときには、問題のあった行動について指導し、生徒の人格を否定するような言い方にならないようにする。
- ②問題行動について生徒を指導したときは、保護者に問題行動の事実・指導内容を連絡し、これから生徒をどのように伸ばしていくか（今後の指導方針）について連携をはかる。
- ③基本的な生活習慣の確立を図るため、全職員で徹底した指導を共通実践する。
- ④各種行事・生徒会活動・清掃・給食準備、部活動など、生徒と共に行動する。
- ⑤学級づくりを積極的にすすめ、より良い仲間づくりを通して、いじめの未然防止に努める。
- ⑥生活ノート・教育相談・アンケート等を活用して生徒の実態を把握する。
- ⑦生徒会活動など、生徒の自治的活動を積極的に推進させる。
- ⑧部活動、ボランティア活動など、課外の活動を積極的に推進させる。
- ⑨家庭・地域及び関係機関との連携に努める。
- ⑩共通理解を図り、全職員が協力し合い、同一歩調で指導を進める。

## 5. 年間月別目標・主な指導内容

	目 標	主な指導事項
4月	①新しい環境、生活に慣れさせる。 ②楽しく学習し、生活できる学級づくりを進める。 ③家庭との連携を深める。(家庭訪問実施)	○学校生活のきまりの確認。 ○学級・学年での仲間づくりの推進。 (班活動・係活動) ○教師と保護者の信頼関係を築く。
5月	①規律正しい生活をさせる。 ②他人を尊重する態度を育成する。	○連休を有意義に過ごさせる。 ○3年生修学旅行を有意義なものにする。 ○規律正しい学校生活をさせる。 ○部活動を規律正しいものに。(1年生入部)
6月	①清掃に力を入れさせる。 ②生活のリズム、学習のリズムを確立させる。	○清掃指導の徹底。 ○校内美化活動を進める。 ○時間を守り、1日の生活・学習のリズムをつくらせる。
7月	①衛生に気をつけさせる。部活動に力を入れさせる。 ②有意義な夏休みにするための計画をしっかり立てさせる。	○梅雨期における健康管理を徹底させる。 ○部活動に意欲的に取り組ませる。 (総体にむけて) ○1学期の反省。 ○夏休みの計画。
8月	①心身共に健康で、計画的な夏休みを過ごさせる。	○規則正しい毎日の生活。(早寝・起き) ○地域行事への参加。(地域住民としての自覚) ○部活動への参加。 (休まず参加し、規則正しい生活を)
9月	①交通ルールを守らせる。 ②協力し、助け合える学級・学校づくりを進める。	○交通ルールの徹底。 ○交通安全指導の充実。 ○学級・ブロックで協力して、体育大会を成功させる。
10月	①服装・頭髪規定を守らせる。 ②学習意欲・学習習慣を確立させる。	○冬服着用への指導。 (服装・名札・持ち物・下着) ○頭髪の指導。(中学生らしい頭髪を) ○学級での学習意欲の高まる雰囲気づくり。
11月	①文化活動・学習に力を入れさせる。 ②一人一人が責任を持ち、支え合う学級づくりを進める。	○学習習慣を確立させる。 ○読書習慣を確立させる。 ○文化祭への意欲的な参加を通しての学級づくり。
12月	①時間を守らせる。 ②1年間の生活を反省させ、新年に向けての抱負を持たせる。	○遅刻の防止。 ○下校時間の厳守。 ○きびきびした生活。 ○1年の反省。新しい年への抱負。
1月	①あいさつを活発にさせ、健康に気をつけさせる。 ②自分の将来・進路について考えさせる。	○礼儀正しいあいさつで、新年のスタートをきらせる。 ○あいさつでお互いの心のふれあいを図らせる。 ○進路情報に興味を持たせる。 ○健康な生活。
2月	①ストーブ規定を守らせる。 ②実り多い学校生活を送らせる。	○安全思想の徹底。 (点火・消火・防火バケツ) ○お互いに助け合える楽しい学校生活。
3月	①身の周りをきちんと整えさせる。 ②1年間の反省をさせる。	○1年の締めくくり。自分の身の周りをきちんとさせる。 ○新しい学年に向けて、1年間の反省。

## 6. 生徒指導体制



- ※ 問題発生時には、それを発見した教師がその場ですぐに指導に当たる。その後、校長・教頭・生徒指導担当をはじめ、学年や生徒指導（不登校・いじめ対策）委員会のメンバーと連絡を取り合い、問題の内容に応じて上表に沿った指導体制をとる。必要に応じて家庭訪問・家庭連絡を行い、保護者の理解を得る。（家庭訪問及び家庭連絡は学級担任が中心であるが、学年組織を基盤としたチームで行うことを原則とする。）
- ※ 生徒の指導が終われば、最終的には職員会議で報告し、職員間での共通理解を得る。また、その成果と今後の対応について他の職員に協力を求める。
- ※ 指導後も観察・受容等を継続して、指導の効果が増すように努める。

7. 生徒指導組織表

